

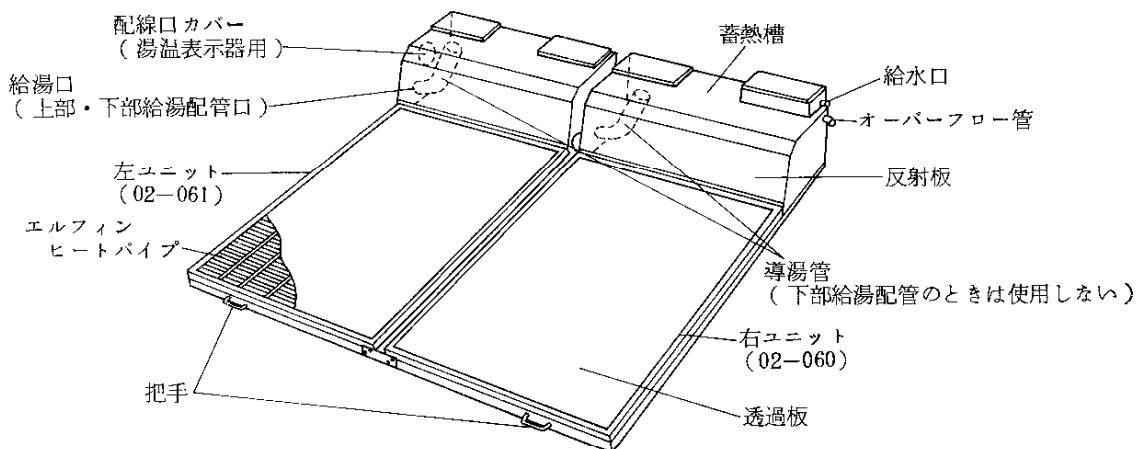
このたびは、大阪ガス住宅設備の太陽熱給湯システム 02-060・061 をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書（別添）はお求めの販売店からお受け取りのうえ、内容をよくご確認ください、後々のためこの説明書とともに大切に保存してください。
- 2通りの給湯方法がありますので、給湯方法をご確認ください。

## 目 次

- 各部の名称
- 特に注意していただきたいこと
- 使用方法
- 上手な使い方
- 手入れと点検・修理
- 工事・試運転チェック
- 定期点検整備
- アフターサービス
- 仕 様

## 各 部 の 名 称



## 特に注意していただきたいこと

- 年に1度定期的に点検および手入れをしてください。

架台（温水器）固定用のステンレス線、コーチネジ、本体および架台の取付状態については1年に1回（特に台風シーズン前）専門技術者による定期点検を受けてください。詳しくは販売店・工事店にご相談ください。

- 凍結防止のため配管の水抜きをしてください。

**凍結防止の注意**をご参照ください。

- 強風時は温水器を満水にしてください。

台風など、強風の吹く恐れのあるときは、冬期といえども温水器を満水にしてください。空のときは飛ばされる恐れがあります。（下部給湯配管の場合）

- 空だき（蓄熱槽に水が入っていない状態で直射日光が当たる）しますとヒートパイプの温度が上がり、ユニットの寿命が短くなる恐れがありますので空だきは絶対にしないでください。

- 飲料水には用いないでください。

太陽熱温水器は清潔に造られていますが、長期間のご使用により蓄熱槽内に水あかがたまったり配管材料の劣化などにより水質が変わることがありますので、直接飲用に使用することはおさげください。

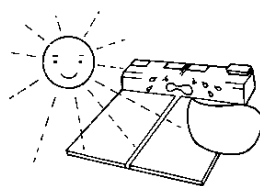
- 長期間ご使用されなかった場合は一度水を入れかえてください。

温水器内に長期間滞留した水は水質が悪くなっている場合があります。一度水を入れかえてからご使用ください。

- 夏季給湯時に熱湯がでることがありますので「やけど」にご注意ください。

とくにお子さまにはご注意ください。

- 積雪の多い地域は、ユニットの上に積雪が約40cm以上になりましたら温水器保護のため、雪おろしをしてください。



## 使用 方 法

1. 各ユニットに導湯管が付いているか、付いていないかで給湯方式が異なりますので、前もってお求めの販売店又は工事店に、どちらの方法で配管工事されているか必ずご確認ください。

	上部給湯（オーバーフロー）配管	下部給湯（ロット）配管
配管	導湯管有	導湯管なし
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯せんを開くだけで、あたたまったお湯から順に使えます。</li> <li>温水を少量ずつ使う場合に適した配管です。</li> <li>お湯を使用した分だけ、自動的に給水します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水とお湯の混合がなく高い温度のお湯が得られます。</li> <li>温水を全量使う場合に適した配管です。</li> <li>水圧が低い場合はこの方法を採用してください。</li> </ul>
給水方法	水拔せんを閉じ、止水せんを開けておく。	(1) 給湯せん、水拔せんを閉じる。 (2) 止水せんを開く。
給湯方法	給湯せんを開く。	(1) 止水せんを閉じる。 (2) 給湯ひんを開く。

※ 配管が長い場合は、温水が出るまでに時間がかかります。

## 2. 配管の流し洗い

配管工事のとき管内が汚れていますので、使い始めには次の順序で流し洗いをしてください。

### ● 給水

給湯せんを閉じ、止水せんを開けて蓄熱槽を満水にしてください。（満水までの30分間かかります）

### ● 水抜き

下部給湯配管の場合は、満水になりましたら止水せんを閉じ、給湯せんを開けてください。

上部給湯配管の場合は、止水せんを開けたままで給湯せんを開けてください。給湯せんのじゃ口より水が出ます。

- 水ににごりがなくなるまで、上記「給水・水抜き」の操作を繰り返してください。
- 配管の流し洗いが終わりましたら、給湯せんを閉じてください。

配管の油などのにおいや泡だちが残ることがありますが、ご使用に伴ない消えます。

### 3. エルフィンヒートパイプで水を暖めます

太陽の出ている間にエルフィンヒートパイプで太陽熱を集め、蓄熱槽の水を暖めます。雨の日・雪の日・曇りの日など太陽が出ていないときは、ほとんど集熱できないときがあります。又季節・地域・設置場所・日射量・給水温度・ご家庭のお湯の使用量などによっても集熱量はかわります。

- 湯温のめやす

次の条件で測定したとき、蓄熱槽内の中央部の湯温は約56～66℃になります。

条件 { 大阪府・夏季・晴天日・午後4時測定、  
傾斜角度30°南向き・水温26℃

### 4. 凍結防止の注意

冬季、思いもよらぬ冷えこみで凍結事故が発生します。凍結防止するため、配管部分（給水・給湯）に水が残らないように排水してください。

- 配管が凍結すると内部の水が溶けるのに時間がかかり、その間は給水・給湯ができません。配管の保温は完全に行ってください。

- 凍結防止バルブ操作

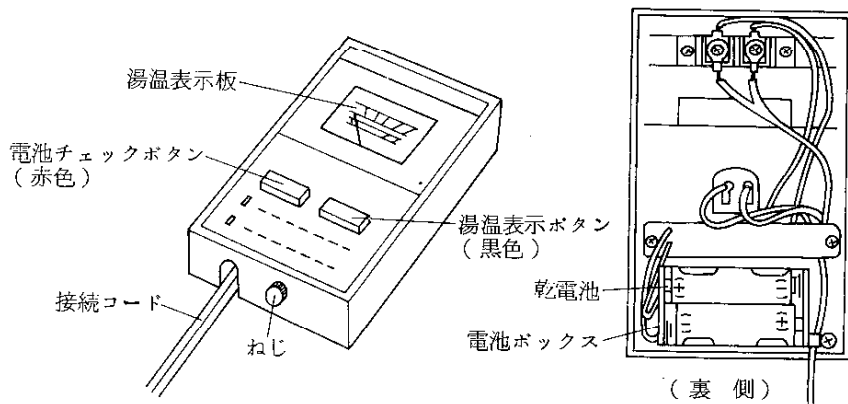
上部、下部給湯配管とも下記のようなバルブ操作をしてください。

- 特に留守などで長時間ご使用にならない場合は忘れずにこの配管内の水抜き操作を行ってください。

水抜き（夜）	給水（翌朝）
(1) 止水せん ↓ 閉じる	(1) 水抜せん ↓ 閉じる
(2) 給湯せん ↓ 開ける	(2) 給湯せん ↓ 閉じる
(3) 水抜せん ↓ 開ける	(3) 止水せん ↓ 開ける

- 熱源機と組み合わせてご使用される場合は凍結防止の方法を販売店（工事店）に必ずご相談ください。

## 5. 湯温表示器について



- この湯温表示器は、太陽熱温水器内のおおよその湯温上昇を知り、やけど防止や使用適否を判断するものですから指針精度は一般の温度計ほど高いものではありません。
- 湯温表示ボタン（黒色）を指で押しますと針は湯温を指示します。指を離しますと針は左に戻ります。（外気温・設置条件により湯温の指示値が変わります。目安としてください）
- 電池チェックボタン（赤色）を指で押しますと針は電池の有無を指示します。  
針が「電池交換」を指示しましたら電池を交換してください。
- 出湯中やお湯のご使用直後（約100ℓ）では正確な温度の表示が得られませんので必ず温度の確認はお湯を使用する前に行なってください。
- 汚れがついた時は乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめて含ませ軽くしぼってふいてください。洗剤を使用後は水道水を布に含ませ、硬くしぼってから洗剤をふきとってください。シンナーなどの溶剤の使用は湯温表示器本体をいためることがありますので絶対におやめください。

## 6. 電池交換について

- 使用電池は単三乾電池2本です。
- ねじを取りはずし本体を手前に引きながら裏板をはずし、電池ボックス内の電池を図のように正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は⊕プラスと⊖マイナスをまちがえないよう正しく入れてください。
- 同じ種類の乾電池を使用し、違い種類（たとえばネオハイトップ乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。

## 上手な使い方

- 夏季は午後1時ごろ1回給湯して水を補給しておき、夕方から夜にまた給湯すれば、湯温は低くなりますが大量のお湯が得られます
- 下部給湯配管の場合、夏季は夜のうちでも少し暖たまりますから、朝給水するより、前日使い終

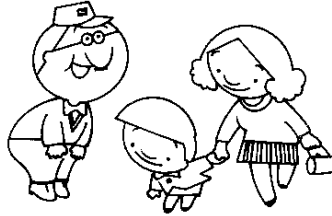
ってすぐに給水しておくほうがおとくです。

## 手入れと点検・修理

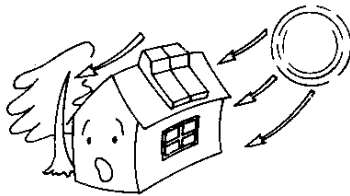
1. 太陽熱温水器は強固に屋根上などに固定されますが、長年の使用により架台やワイヤーなどが傷むことがあります。

太陽熱温水器が屋根などから落ちますと大変危険です。

次のような場合はお求めの販売店などに点検を依頼してください。



- 台風シーズンの前後



- 「使用方法」に従って使用されてもさらにご不審な点があるとき。
  - 水もれするとき。
  - 砂ぼこりなどで透過板が汚れたとき。  
(太陽熱の吸収が妨げられます)
  - ご使用上支障がなくても毎年1回。  
(とくに海岸地域、温泉地域、工業地域など硫化や腐食の激しい所。)
2. 給湯せんのパッキンを取換えられるときは、お湯を使いますので必ず耐熱用のものをお使いください。
  3. 蓄熱槽を満水にしておいてください。  
(空だきによる劣化を防止します)
  4. 冬季、思いもよらぬ冷えこみで凍結事故が発生します。  
給湯、給水配管に必ず保温工事をし、給湯、給水管内の水抜きをしてください。
  5. この太陽熱温水器には、ヒートパイプを使用しており、パイプ内にフロンガスが封入されていますので、長期ご使用後、焼却処分などしないでください。  
(廃棄のときは蓄熱槽内のパイプ各10本を折り曲げてガス抜きをしてください。)



# 定期点検整備

## 1. 定期点検整備のおすすめ

大阪ガス住宅設備(株)の太陽熱給湯システムは安全で快適にご使用いただけるよう厳しい品質管理のもとに生産しております。しかし設置場所が屋根の上に設置されて、風雨、雪、温度等の悪条件下にあります。又部品および部材の経年劣化も考えられるために定期点検を受けていただく必要があります。

安全で快適にご使用いただくためにも専門技術者による定期点検整備をおすすめします。

## 2. 定期点検整備の実施時期

### ● 定期点検整備員

点検整備は専門技術者が使用条件に合わせて消耗しやすい部品、重要部品などの点検、交換を行います。

### ● お申し込み先



### ● 点検整備費用

定期点検整備はお客様のご負担によって実施します。

消耗、劣化しやすい部品で交換した部品代もご負担いただきます。

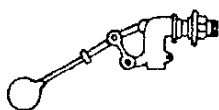
## 3. 定期点検整備の内容

項目	定期点検整備の主な内容
据付状態の点検	・ 架台の点検及びワイヤー ・ 本体の接続金具、ホース、クランパの点検
機能部品の点検	・ ボールタップの動作確認 ・ 湯温表示器及び配線の点検
清掃・整備	・ 蓄熱槽の流し洗い ・ ガラス及び反射板の流し洗い
消耗しやすい部品の点検	・ ワイヤーのゆるみ及び劣化 ・ ホース及びホースカバーの劣化 ・ パッキン類の劣化

## 4. 消耗しやすい部品・重要部品の点検と交換

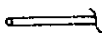
安全のために消耗・劣化しやすい部品は定期的の確認し交換が必要です。

### ● ボールタップ



パッキンの劣化あるいは摺動部の劣化による水漏れ、給水不能の原因になります。

### ● ワイヤー



ワイヤーが劣化・損傷しますと断線し本体の落下の原因にもなります。



● **コーチポルト**



コーチポルトが劣化しますとワイヤーが外れたり固定部より抜けたりして本体の落下につながります。

● **ホース・ホースカバー**



ホースが劣化・損傷により、水漏れの原因になります。

※ その他重要部品についても設置条件や使用条件、特殊環境により劣化しやすい場合がでてまいりますので点検が必要です。

## アフターサービス

### 1. 保証書（別に添付してあります）

保証書は販売店からお渡し致しますから、必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存して下さい。

**保証期間** お求めの日から1年間

### 2. 保証期間中に修理を依頼される時。

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、お求めの販売店に保証書を添えて修理を依頼してください。保証書の記載内容により販売店で修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・コード番号・ご購入日（保証書をご覧ください）

（例）

（4）02-060

大阪ガス住宅設備

- 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

### 3. 保証期間経過後、修理および保守点検を依頼される時。

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理および保守点検により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

### 4. 補修用性能部品の最低保有期間。

当社はこの太陽熱給湯システムの補修用性能部品の製造打切り後最低7年間保有しております。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 5. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は。

お求めの販売店または最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

6. お湯の使用量が多い場合はユニットを増設することができます。(別売 02-061)  
お求めの販売店・工事店にご相談ください。この製品の品番は 02-060・061 です。

仕 様

品 番	(4) 02-060・061		
標準寸法 (巾×奥行×高さ)	2,151×2,106×416	02-060	1,036×2,106×416
		02-061	1,036×2,106×359
標準重量	97kg(満水時297kg)		
有効採湯量	200ℓ		
有効集熱面積	3.0㎡		
材質	蓄熱槽(タンク)	高密度ポリエチレン	
	透過板	半強化ガラス t 3.2	

## お 願 い

ボールタップ給水口からタンク開口部上方(工事説明書図-2ご参照ください)への水の飛散を抑制するために、防滴板を取り付けてください。

### 取付手順

給水配管工事が終わり、フタAをワクAに取り付ける前に、先に防滴板(図-1)を取り付けてください。

1. 爪のある側①②をワクAの中に差し込み、爪をワクAの下部にかける。(図-2)
2. 防滴板をわん曲させて、他端③④をワクAの隅に当てる。(図-3)

